

第 55 回技能五輪全国大会「理容」職種 採点基準

1. 採点項目及び配点

競技課題 1 ファッションパーマネントウェーブ&カット（写真解釈）

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	写真と同様の長さ、質感、流れ、動きにカット・セットされているか	10	3
パーマ	パーマで写真と同様の流れや動きが表現されているか	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
ロッドの跡がついている パーマ部分の 1 / 3 についている＝△ 1 点 パーマ部分の 2 / 3 についている＝△ 2 点 パーマ部分のすべてについている＝△ 3 点	△ 1 ～ 3 点
輪ゴムの跡がついている パーマ部分の 1 / 3 についている＝△ 1 点 パーマ部分の 2 / 3 についている＝△ 2 点 パーマ部分のすべてについている＝△ 点	△ 1 ～ 3 点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△ 1 点 耳や襟に付着している＝△ 1 点	△ 1 ～ 2 点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△ 1 点 衣装が装着されていない＝△ 2 点	△ 1 ～ 2 点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△ 1 点

審査基準

1. 写真に対し、よく理解され忠実に表現されているかを見る。
2. パーマネントウェーブを活かしたカットがなされているかを見る。
3. フィンガーセットによる美しいウェーブ・カール表現が出来ているかを見る。
4. トータルバランスが良いかを見る。

公 表

理容職種 第 55 回大会用 ※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題 2 アバンギャルドヘアカット＆カラー

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの鮮やかさ	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
カラーが皮膚に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
カラーが頭皮に付着している 1～3点の減点 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△1点 衣装が装着されていない＝△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

審査基準

1. 4色以上のより鮮やかなカラーであるかを見る。
2. 髪長さや量、髪型と質感の組み合わせの急激な変化を見る。
3. 先進的なデザインラインと、芸術的でダイナミックなスタイルであるかを見る。

公 表

理容職種 第 55 回大会用 ※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題3 ファッションヘアカット＆カラー

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
カラーが皮膚に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
カラーが頭皮に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△1点 衣装が装着されていない＝△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

審査基準

1. カットラインや質感がカラーとうまくマッチしているかを見る。
2. 3色以上のファッションナブルなカラーであるかを見る。
3. 時代性を取り入れたファッションナブルなスタイルであるかを見る。

公 表

理容職種 第 55 回大会用 ※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題 4 クラシカルバック バリエーションヘア

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとスタイリングの全体的印象	10	3
カラー	カラーリングの全体的印象	10	3
トータルバランス	トータルバランス	10	4

客観審査

審 査 項 目	減 点
カラーが皮膚に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
カラーが頭皮に付着している 1～3点の減点 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
ネックラインにシャープさが無い ネックラインがゆがんでいる＝△1点 ネックラインがついていない＝△2点	△1～2点
後頭下部に色彩がない	△1点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
衣装の不備 衣装の装着が不完全＝△1点 衣装が装着されていない＝△2点	△1～2点

不安全行動に対する減点

減 点 項 目	減 点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点

審査基準

1. 伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えているかを見る。
2. ネックラインはシャープで、男性的であるかを見る。
3. 後頭部の色彩は横一文字で、幅広で十分に刈り上げているかを見る。
4. フロントのデザインを活かした効果的なカラーであるかを見る。
5. シルエットはスクエアラウンドであるかを見る。

公 表

理容職種 第 55 回大会用 ※ 〃は前回大会用資料の記述から変更しています。

競技課題のウェートのかけ方

競 技 課 題	ウェートバランス
競技課題 1 ファッションパーマネントウェーブ&カット (写真解釈)	0.2
競技課題 2 アバンギャルドヘアカット&カラー	0.3
競技課題 3 ファッションヘアカット&カラー	0.2
競技課題 4 クラシカルバック バリエーションヘア	0.3

2. 採点方法

(1) 主観審査の方法

採点は下記のとおり審査項目ごとに 10 点満点制とし、所定の審査表により行う。

(参考)

10	Perfect	完璧	5	Weak	やや劣る
9	Excellent	すばらしい	4	Bad	悪い
8	Very good	非常に良い	3	Insufficient	不十分
7	Good	良い	2	Very bad	非常に劣る
6	Medium	まあまあ普通	1		

- ・ 最高点の 10 点は審査項目ごとに必ず 1 つつけ、9 点以下は同点があってもよい。
- ・ 得点数が同点の場合は、競技委員主査の採点表の得点数でその順位を決定する。
- ・ 競技委員主査の採点表で同点の場合は、主査の採点表で優先する競技課題の得点差で決定する。

優先順位は次のとおり

第一優先：競技課題 4 クラシカルバック バリエーションヘア

第二優先：競技課題 2 アバンギャルドヘアカット&カラー

第三優先：競技課題 1 ファッションパーマネントウェーブ&カット (写真解釈)

第四優先：競技課題 3 ファッションヘアカット&カラー

(2) 客観審査の方法

客観審査は減点方式で行う。

減点数は各競技委員の判断ではなく、全競技委員の確認のもとに決定し、各課題の主観審査の総合得点（100 点満点）から減点される。

(3) 作業時間採点の方法

各競技課題に定められた作業時間を超えた場合、採点を行わない。

(4) 作業態度採点の方法

加点はしないものとし、他の競技者への妨害や迷惑をかけるなど、作業態度が著しく悪い場合は、競技委員の合議制で減点する。